

平成30年度 理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	2単位	年次	1, 2年次
使用教科書	新編 生物基礎 (啓林館出版)						
副教材等	サンダイヤル生物基礎の基本マスター改訂版 (株新興出版社啓林館)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

日常生活の中で起こるさまざまな自然現象に興味を持ち、その法則性について考えてみましょう。そして疑問に思ったことを自分で探求する力を身につけてほしいと考える。授業では仲間と協力し実験や観察を行い、自分の考えを発表する機会があります。また、考查ごとに提出物があるので期限を守って提出してください。

2 学習の到達目標

身の回りの生活と生物や生物現象を関連付けることで興味・関心をもち、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、実験、観察などから生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	日常生活と生物現象を関連付けて考えることができ、自ら興味をもち意欲的に探求することができる。	生物や生物現象の中に疑問や問題を見出し、探求する課程を通して、事象を科学的に考察し、自分の考えを表現する事が出来る。	実験・観察の基本操作を習得するとともに、手順や結果を記録、整理する技能を身につけている。	生物や生物現象について基本的な概念や原理を理解し、知識を身につけている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 発表	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 発表 定期考查の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 観察・実験の記録 定期考查の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 観察・実験の記録 定期考查の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法		
			a	b	c	d				
1学期	生物の特徴	生物の共通性と多様性	○	○			a: 地球上に存在する多様な生物や身の回りの身近な動植物に興味を持ち、意欲的に探求しようとする。 b: 共生説について自らの考えを持ち、表現することが出来る。 c: 顕微鏡の構造を理解し、正しく使用することが出来る。 d: 生物の共通性について理解し、光合成や呼吸についての知識も身につけている。	学習状況 ノートやプリントの記述 観察・実験 発表 定期考査		
		細胞とエネルギー			○	○				
	遺伝子とその働き	遺伝情報とDNA	○	○					a: 遺伝現象とDNAに興味を持ち、自分が知っていることやメディアなどの情報と関連付けながら意欲的に探求しようとする。 b: 遺伝子の本体がDNAであると考えることができ、DNAと生命現象の関わりを適切に表現することが出来る。 c: タマネギの根端細胞の実験観察において実験器具や実験試料を適切に使用することができる。 d: 遺伝子の働きについて理解し、DNAについての知識を身につけている。	
		遺伝情報の分配		○	○					
		遺伝情報とタンパク質の合成	○			○				
	2学期	生物の体内	体内環境と恒常性	○		○				
体内環境の維持のしくみ				○		○				

		免疫	○			○	整理することができる。 d: 体内環境の維持と病原菌などの異物の認識・排除機構を理解し、知識を身につけている。	
3学期	生物の多様性と生態系	植物の多様性と分布	○			○	a: 環境が植物にどのように影響を与えているか、生態系のバランスに興味を持ち、意欲的に探求しようとする。 b: 生態系の保全と維持するためにはどのような取組が必要か考え、表現することができる。	学習状況 ノートやプリントの記述 観察・実験 発表 定期考査
		生態系とその保全		○	○		c: 生態系とその保全について資料収集を行い、資料を整理しまとめることができる。 d: 様々な場所に適した生物集団の違いを理解し、植生についての知識を身につけている。	

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。